

Press Release

報道関係者各位

2025年3月7日



私たちは生まれた瞬間から、自分の力だけでなく、数え切れないほど多くの人々に支えられて、大人へと成長していきます。その過程において自分と周囲の人々をつないでいるのは「絆」と呼ぶべきものです。親子、夫婦、友人など、絆のかたちは様々ですが、お互いをかけがえのない存在と認識し、共に支え合う関係性は、人類が今日に至るまで生命のリレーをつなぎ続ける上で根源的な力を生み出してきました。

本展は、人と人がつながり合う中で作られる、使用される、伝承されるモノを幅広く展示し、地域や時代を超越した人間の普遍的な営みである絆を物質文化から浮き彫りにしようという試みです。目に見ることはできなくても、人々の間に確実に存在する絆について改めて見つめ直し、これからの社会のあり方について考える機会になれば望外の喜びです。

■ 展示構成

I. 結ばれる絆

人生は出会いの連続です。その中でも人生を共にするパートナーと結ばれる、子を授かるという出来事は、生涯の中でも最大の「出会い」といえます。この章では、結婚に際して新郎新婦の間で交わされる品々、子の授かり、あるいは子の健やかな成長を願う祈りが込められた品々、古き時代から世界各地で広く見られる母性への崇敬の念を示す品々などを紹介します。

【主な出品資料】 メノコ・マキリ／日本、結納用の木雁／韓国、石貨／ミクロネシア連邦、貝紫染めの巻きスカート／メキシコ、婚礼衣装／ラオス

II. 深まる絆

一旦は結ばれた絆であっても、その関係を良好に保つためには双方の思いやりと歩み寄りが必要です。接触する機会を積極的に設けて、同じ時間を過ごし、語り合うことが互いの気持ちを通わせる手立てとなり、絆が深まっていきます。そうした場をお膳立てする一助として、同じものを分け合い、楽しみを共有する文化が育まれてきました。また、様々な困難に見舞われている人々に心を寄せ、支援の手を差し伸べる助け合いの輪はこれまで多くの人々を救ってきました。この章では、社会が発展する上で、人々が様々なコミュニケーションの方法を使って、つながり合ってきたことを、世界各地のモノを通じて紹介します。

【主な出品資料】 長椅子で対談する人物像／メキシコ、連杯型酒器／台湾、茶道具／中国、コーヒーポット／エチオピア、蛙形盒／タイ、人物文様のある編みかご／アメリカ合衆国、オオアリクイの精霊面／ブラジル、托鉢の容器／イラン

III. 受け継がれる絆

人の一生は時間が限られています。人生のうちに学んだ知識や習得した技術を、自分だけのものとせず、口で伝える、文字に記す、絵や造形物で表現するなど、様々な手段を通じて次の世代に伝えることが、社会の発展に貢献したことは言うまでもありません。過去と未来を切れ目なくつないでいくのは、現在に生きる私たちの役割であり、それはあたかも受け取ったバトンを次から次へ渡していくリレー走のようなものです。この章では民族集団のアイデンティティの形成に関わるものや、独自文化の継承にまつわる品々などを紹介します。

【主な出品資料】 彩画掛け軸／タイ、ストーリー・クロス／ラオス、ミリミリガン／台湾、文字絵／韓国、霊船布／インドネシア、カチーナ人形／アメリカ合衆国、モタンカ／ウクライナ

* その他の展示資料、初公開等

モンゴル帝国初代皇帝チンギス・カンの子孫であるチエチェン・ハーン・シヨロイ(1577-1655年)を始祖とする家系図を初公開します。14世代、約1万2千人の名前が記された円形の布は直径が5.6mに及び、世界最大級の家系図であろうと思われます。モンゴルではチンギス・カンの血筋を引いた男系男子のみが正統な支配者となる権利を持つと考えられていたことから、300年以上にもわたり代々の系譜を記録し続けたものと思われます。

[出品資料]家系図／モンゴル(初公開)

■ 出品数 80件を予定

■ 関連イベント ※要入館券

・記念講演会

「天理教の人間観とヒトの絆 ―人類の未来と「たすけ合い」―

講師:岡田 正彦 氏(天理大学教授)

日時:4月27日(日) 午後1時30分～3時 / 会場:研修室 / 定員:100名 [当日先着順]

・トーク・サンコーカン(学芸員による講演会)

「『絆』を可視化するモノ」

講師:梅谷 昭範(天理参考館学芸員)

日時:5月16日(金) 午後1時30分～3時 / 会場:研修室 / 定員:100名 [当日先着順]

要入館券

・マンデートーク(ギャラリートーク)

開催日:4月21日(月)・6月2日(月)

時間:午後0時30分～1時20分 / 会場:3階企画展示室

梅谷 昭範(天理参考館学芸員)

・Q&A カフェ

エチオピア産のコーヒーを飲みながら、企画展の様々な疑問について担当学芸員がお答えします

開催日:5月9日(金)

時間:午前11時30分～午後2時30分 / 会場:2階ホール

1杯 275円・先着 60杯

■ 同時開催

・「世界のみんなにこんにちは」展 (提供:JICA 関西)

世界4か国の挨拶と文化をタペストリーで紹介すると共に、クイズラリーも実施します。

全問正解者には先着順で素敵なプレゼントも。 会場:3階ロビー

・写真展「天理大学100年をたどる―キャンパスと学生生活―」(提供:天理大学)

創立100周年を迎えた天理大学の足跡を貴重な写真と映像で振り返ります。

会場:3階ロビー(プロジェクターによる映写)

■ 開催概要

展覧会名 天理大学創立100周年記念 第98回企画展「絆―ヒトとヒトをつなぐモノ―」

会場 天理大学附属天理参考館 3階企画展示室

会期 2025年4月16日(水)～6月2日(月)

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 4月22日(火)・28日(月)・30日(水)、5月7日(水)・13日(火)・20日(火)・27日(火)

入館料 大人500円、団体(20名以上)400円、小中高生300円(学校団体の見学は無料、要事前申込)

※障がい者およびその介護者1名は無料。受付カウンターに障がい者手帳等またはミライロIDをご提示下さい。

主催 天理大学附属天理参考館

後援 天理市、天理市教育委員会、歴史街道推進協議会

協力 JICA 関西、天理大学附属天理図書館

第98回
企画展サイト



■お問い合わせ 天理大学附属天理参考館 〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250 番地
TEL.0743-63-8414 FAX.0743-63-7721 E-mail:san-info@sta.tenri-u.ac.jp
展示担当／梅谷 昭範 海外民族室学芸員 ／ 広報担当：山口・渡辺

■天理大学創立 100 周年記念 第 98 回企画展「絆—ヒトとヒトをつなぐモノ—」 広報用画像リスト

これらの広報画像は当館ウェブサイトのプレスリリース内(天理大学創立 100 周年記念 第 98 回企画展「絆—ヒトとヒトをつなぐモノ—」)よりダウンロード可能です。使用に関しては以下の注意事項を遵守してください。

・キャプションには以下の通り記載してください。

- 【1】 長椅子で対談する人物像 5 世紀～7 世紀 メキシコ (天理大学附属天理参考館 所蔵)
- 【2】 人物文様のある編みかご 20 世紀中頃 アメリカ合衆国 (天理大学附属天理参考館 所蔵)
- 【3】 カチーナ人形 20 世紀初頭 アメリカ合衆国 (天理大学附属天理参考館 所蔵)
- 【4】 貝紫染めの巻きスカート 20 世紀後半 メキシコ (天理大学附属天理参考館 所蔵)
- 【5】 オオアリクイの精霊面 20 世紀末 ブラジル (天理大学附属天理参考館 所蔵)
- 【6】 ポスター

・写真(画像)のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。写真(画像)の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

